

FEB

3



令和5年度 主催事業

マンスリー／森のようちえんのご報告

参加家族：5組（17名）、職員・スタッフ3名、ボランティアリーダー3名



冷たい空気の中に差し込む光の暖かさを感じた2月の森のようちえん。

今月は相次ぐ体調不良による欠席で、当初参加予定だった11家族から大きく減り、5家族17名の参加でした。参加してくれた子どもたちは元気いっぱい！走り回ったりリーダーとお話したり、集合から楽しみにしている様子を見せてくれました。

体を動かしてアイスブレイクをした後、森の探検に出掛けました。森のようちえんでは初めて使う場所ですが、平地だけど木々に囲まれている、森遊びをするにはうってつけの場所です。森に入った瞬間から、ツルやお気に入りの木の棒など、色々なものを発見し、そこから遊びが始まる子どもたち。倒れている木を渡ってみたり、木登りに挑戦したり、木を叩いて音の違いを発見したり、と思いつきの遊びが広がっていきました。



猪の骨やスズメバチの巣を発見した時は、皆でじっくり観察し、自然の産物に保護者の方も驚きを見せていました。誰かがやっている遊びに興味を持って、同じ遊びをしてみたり、黙々と朽ち木を掘ってみたりと、子どもたちは「やりたいこと」に自由に取り組んでいました。

楽しい時間はあっという間。お昼の時間には、リーダーが作ったけんちん汁を食べて、心も体もほっこりしました。関東では節分にけんちん汁を、四国ではこんにゃくを食べる風習があるらしく、こんにゃく入りのけんちん汁を食べて、季節を感じながら温まることができました。

午後の時間は親子別々に過ごしました。子どもたちは森で遊び、保護者の方はカフェブレイクをしました。保護者の方から離れた子どもたちは、リーダーにたくさんの発見を教えてくれたり、一緒に穴を掘ったりと、伸び伸びと遊ぶ姿が見られました。保護者の方は、子どもたちと離れてほっと一息。保護者同士も繋がれる良き時間となりました。

来月3月は今年度最後の森のようちえんです。元気いっぱいな子どもたちに会えることを楽しみにしています。